

ポイント（４）生徒による学校評価

生徒による評価の位置付けを明確にして教育活動の改善に生かす。

多くの学校では、生徒が充実した学校生活を送るためのよりどころとして、生徒指標や努力目標などを設定しています。また、近年、作成する学校が増えているシラバスにも、生徒の主体的な学びを促すため、学習の到達目標を明らかにしようとするねらいがあります。これらに示されている学校生活や学習の目標は、生徒のために設定するものですが、評価方法を工夫することによって学校評価に生かすこともできます。

たとえば、学校生活について生徒にアンケートを実施したり、学校生活や学習への取組状況を生徒に自己評価させたりすることで、学習だけでなくさまざまな教育活動に関する生徒の満足度、関心、意欲などを把握することができます。これらは指導する教職員にとって、改善に役立つ貴重な情報となります。

これまでも、学校行事などの特別活動については、アンケートなどを用いて満足度などを把握するための評価を行ってきました。また、学習に関するアンケートなどについても、各学校の生徒の状況に応じて質問項目を工夫して実施してきました。これからの学校評価では、これまで行ってきたアンケートや評価票の項目を、学校経営のビジョンや重点目標と関連付けて見直す視点が大切です。

➡ 【ポイント(4)の事例 その1】 学校生活全般についての評価

生徒の学習意欲や進路意識の高揚を図るために、特別活動を含めた教育活動全体に目を向けた学校評価を行うことが大切です。

次に示す〔事例(4) - 1〕では、学校の教育活動に関して、生徒による満足度評価に取り組んでいます。

また、次ページの〔事例(4) - 2〕では、教師側の重点目標に対応させた、生徒の努力目標を示し、その達成状況について、生徒に自己評価をさせています。生徒の自己評価の結果は、教育活動の改善に生かしたり、次年度の目標設定のよりどころにしたりすることができます。

〔事例(4) - 1〕 生徒による満足度評価を実施している。

(重点項目・評価項目・評価結果)

重点項目	評価項目・評価結果
授業のわかりやすさ	1 授業はよくわかりますか。 ア よくわかる(4%) イ だいたいわかる(50%) ウ すこしわかる(38%) エ 全くわからない(9%) (エを選んだ理由)
学校生活への関心	2 学校生活で関心が高いものはどれですか。 ア 進路(12%) イ 学業生活(5%) ウ 部活動(11%) エ 生活行動面(3%) オ 友人関係(28%) カ 学校行事(生徒中心の球技大会・学校祭など)(15%) キ 資格試験(25%) ク その他()
学校生活への満足度	3 あなたは学校生活に満足していますか。 ア たいへん満足している(3%) イ だいたい満足している(34%) ウ 普通(42%) エ やや不満である(12%) オ 不満である(9%) (アを選んだ理由) (オを選んだ理由)
今年度の学校行事の検討課題	4 学校行事について(生徒中心の球技大会・学校祭など) ア 増やしたほうがよい(49%) イ このままでよい(44%) ウ 減らしたほうがよい(7%)

〔事例(4) - 2〕教育活動や指導の改善をめざして、学校生活に対する生徒の自己評価を実施している。

- 1 本年度の重点目標（抜粋）
生徒指導の充実
 - (1) 基本的生活習慣の確立
 - (2) 交通安全意識の高揚
 - (3) 明るくいきいきとした学校づくり
健全な心身の育成
 - (1) 個性を尊重し思いやる心の育成
 - (2) 魅力ある部活動の環境づくり
- 2 本年度の生徒の努力目標
 - (1) 皆勤・クラス皆勤賞をみざそう
 - (2) 読書の習慣を身に付けよう
 - (3) 部活動に積極的に取り組もう
- 3 生徒の自己評価項目と評価結果

・(1)～(3)の 、 などに、1年間を振り返り教えてください。()回答の割合%
・当てはまる数字またはアルファベットを で囲んでください。

- a そう思う b どちらかといえばそう思う
c どちらかといえばそう思わない d そう思わない

(1) 出席状況について

本年度は、皆勤、精勤を目指し努力した

a (35.7) b (24.4) c (20.7) d (14.0) 無回答 (5.2)

欠席は、[0日 1～2 3～5 6～9 10～19 20以上]した 無回答
(34.2) (20.2)(19.7)(11.9) (5.2) (3.1) (5.7)

(2) 読書について

朝の読書の時間を大切にし、一生懸命取り組んだ

a (24.9) b (25.9) c (20.2) d (23.8) 無回答 (5.2)

本は、[0冊 1～2 3～5 6～9 10～19 20以上]読んだ 無回答
(17.1) (31.1)(18.7)(8.8) (3.1) (9.8) (11.4)

(3) 部活動について

部活動に一生懸命に頑張った(部活動に加入している生徒についての集計)

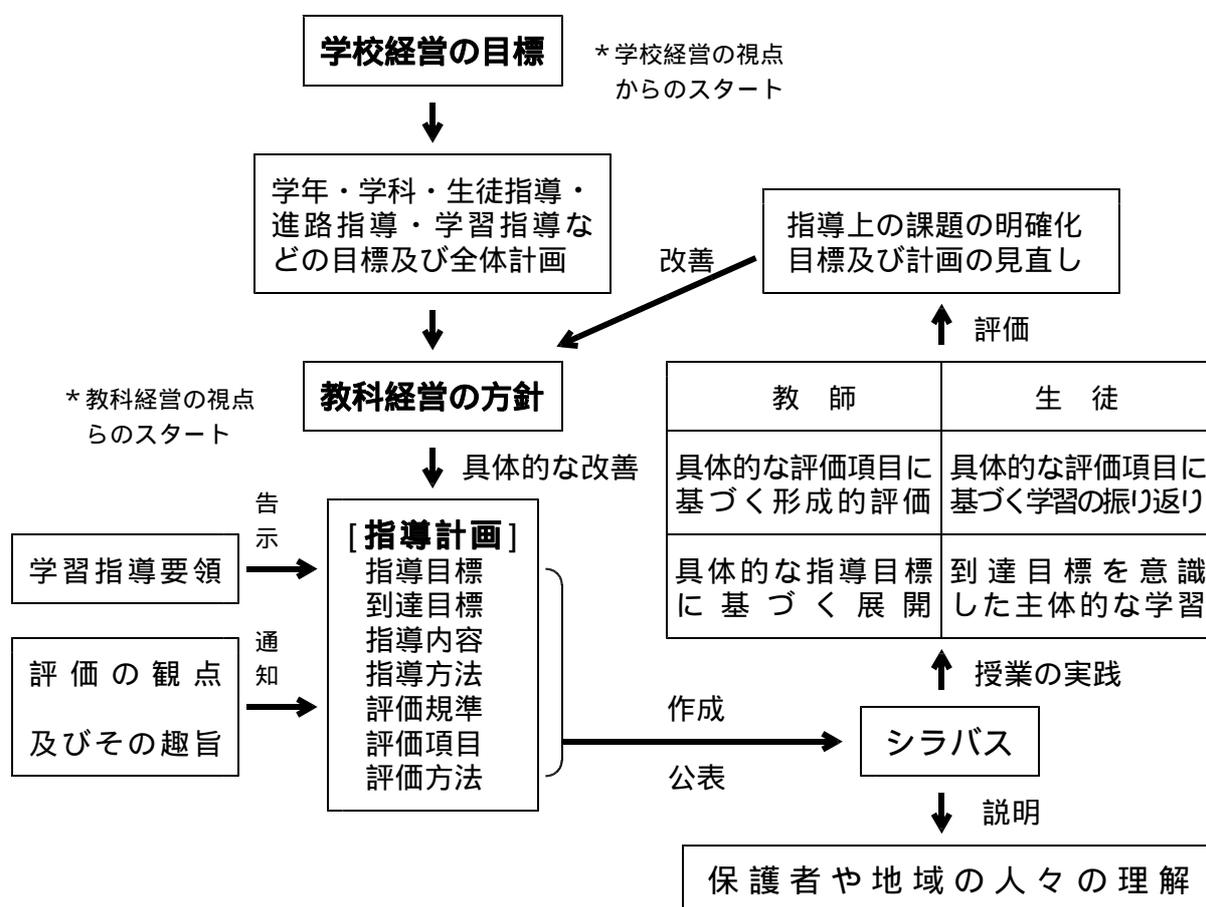
a (70.3) b (27.0) c (2.7) d (0.0)

➡ 【ポイント(4)の事例 その2】 授業に関する評価とシラバスの関連

授業に関する評価項目については、生徒による授業評価と生徒自身が自分の学習を振り返るための評価（生徒の自己評価）を組み合わせた形式が多くとられています。いずれの場合においても、授業の進め方や課題の設定について、シラバスなどを用いて適切にガイダンスを行うことが大切です。

生徒による授業評価を実施する場合、各教師の指導方法に関する個別の評価と、学校として取り組む学習指導の方針に関する評価を分けてとらえることが大切です。

また、生徒の自己評価は、生徒自らが学習の状況を振り返ることで、今後の学習の目標の明確化につながります。生徒自身のための評価という意味合いになりますが、生徒の自己評価の結果が良好であることは、授業や学習指導そのものが効果を発揮していることを表すと考えられます。



シラバスの作成及び活用の全体像

「高等学校におけるシラバス作成のポイント（平成15年11月 栃木県総合教育センター）」より抜粋

〔事例(4) - 3〕シラバスを用いて生徒に自己評価をさせている。

導入の効果について

- ・各教科とも、シラバスの導入によって指導方針が明確になり、わかりやすい丁寧な授業が展開されるようになった。
- ・「家庭学習0(ゼロ)の生徒が多い」という生徒対象のアンケート結果に対して、組織的にアプローチする体制づくりができた。

(教育計画・教員による評価について)

1 学習指導部の目標・努力点

基礎学力の充実

自ら学ぶ態度の育成

2 教員による評価

評価項目
指導(授業・テスト)の内容について、教科内でよく話し合っている。
生徒の成績評価については、担当者と必ず話し合っている。
事前に授業準備をして、いつもわかりやすい授業を心がけている。
授業以外に、理解度の低い生徒について面談や個別指導をしている。
生徒にとって魅力ある授業を展開できたか。
年間計画表の学習内容や授業の進度は適切であったか。

A YES

B どちらかといえばYES

C どちらともいえない

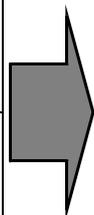
D どちらかといえばNO

E NO

(シラバスについて)

シラバスに授業の進度、課題やテストの概要、評価のポイントを示して、学習のガイダンスを行う。教職員の評価と、授業評価や生徒自身の自己評価とを関連付けることで、教員はそれらの結果を学習指導の改善の参考にする。

シラバスに記載した事項	授業評価の項目や生徒の自己評価の項目
<p>(関心・意欲・態度のポイントを示す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりのノートを作成するように心がける。 ・仲間と協力して資料を集めたり、意見交換する。 ・学んだことを身近な事象を考えるのに生かそうとする。 	<p>あなたは、この科目について意欲的に授業に参加していますか。</p>
<p>(学習についての留意点を示す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の開始時には、チャイムの鳴る前に着席し、教科書、ノートを準備しておきましょう。 	<p>この科目の授業前に教科書・用具を準備して、チャイム着席していますか。</p>
<p>(実験・実習のスケジュールを示す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つのテーマをおよそ3週単位で進めます。 	<p>この科目の授業進度(スピード)は適切ですか。</p>
<p>(基本的な学習方法・アドバイスを示す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に合う勉強方法がわからない人は先生に相談してほしい。 	<p>この科目の先生は、生徒の質問に適切に対応してくれますか。</p>
<p>(学習の到達目標を示す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の四つの英語によるコミュニケーション活動に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> 英語を聞いて要点をとらえる。 英語を読んで要点をとらえる。 英語で自分の考えなどを話す。 英語で自分の考えなどを整理して書く。 ・このために <ul style="list-style-type: none"> 「単語」は中学校で学んだ約900語に加えて新たに400語を学習します。 「基本的な文型、文法事項、熟語」を身に付けます。 	<p>この授業を受けて、受けた時間分の学力がついていますか。</p> <p>この科目の授業について充実感や満足感がありますか。</p>



関連する評価項目

A YES B どちらかといえばYES
D どちらかといえばNO E NO

C どちらともいえない

〔事例(4) - 4〕シラバスを用いて教職員の評価と生徒の自己評価とを関連付けている。

導入の効果について

- ・各教科とも、シラバスの導入によって指導がより一層きめ細かくなり、わかりやすい丁寧な授業が展開されるようになった。
- ・定期考査において、学習の定着が不十分な生徒の割合が、過年度と比較して減少した。
- ・全体として「底上げ」の効果が見られる。

(教育計画・シラバス・評価の関わりについて)

- 1 学習指導部の目標・努力点 学力増進と授業の重視
- 2 具体的な目標 教科指導方法の工夫改善、毎時の授業時間確保
シラバスの効果的利用、生徒の自主的学習態度の育成
- 3 教職員による評価

評 価 項 目
各教科の年間計画の具体化と運用は、適切になされたか。
教材研究を深め、指導法の工夫・改善がなされたか。
授業時間を確保し、単位時間を大切に展開したか。
基礎・基本を押さえ、より発展的な学力の向上に努めたか。
個に応じた指導の工夫がなされたか。
生徒が主体的に学ぶ場を設定し、自ら学ぼうとする意欲を高める指導が展開できたか。
シラバスを有効に活用し、適切に評価することができたか。
教科内の共通理解が図られ、教科の目標を達成することができたか。

* 各項目について、取組や達成状況を A、B、C の三つの段階で評価する。

4 シラバスの工夫

- ・学習計画の中で、学ぶ項目と到達目標が対応するように記載している。

〔英語 の例〕

学ぶ項目	月	学習内容(学習の具体的到達目標) 内容を理解し表現等の活用ができる。	備考	考査 範囲	自己 評価
LESSON 7 Pet-Robo	11	(題材)「ペットロボット」について 4人の高校生が話し合っています。 だれがどんな考えか読みとります。 (表現)「賛成・反対する」表現 (文法) S + V (be動詞以外) + C (=過去分詞) It + be など + ~ + that など で始まる節 S+V+O (how など + to 不定詞)	自分は だれの 意見に 近いだ ろうか	期末 考査	

5 活用のポイント

- ・「学習内容」の欄が肝心で、何をがんばればよいか、目標をもって授業に臨むよりどころを示している。
- ・自己評価欄に「ABC」や「 x 」などの記号を書き込み、目標がどの程度達成されたかを内容のまとめりに確認できるよう、シラバスの形式を工夫している。
- ・学習習慣の確立については、生活計画記録ノートや学び方のガイドブックなどを活用させて、学習時間の確保や予習、復習のスタイルの定着を図っている。